



ヒナミクリ採集地 Azuma の謎を解け！ ～フォーリー神父のラベルを辿る～

2025
11/8 土
13:30～15:00

北海道大学総合博物館 1 階
「知の交流」

講師

山崎 真実

札幌市博物館活動センター 学芸員

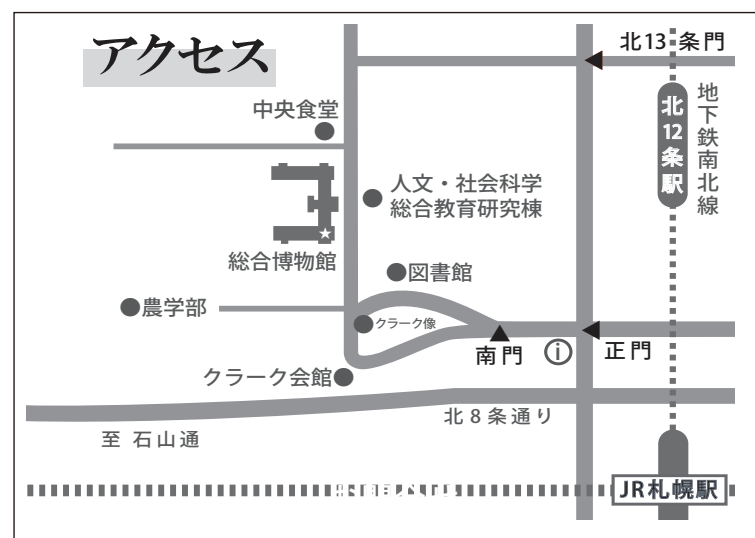


入場無料 / 定員 70 名 (満席時は立ち見 10 名)

北海道大学総合博物館 1 階
「知の交流」

標本は未来へのレガシー（遺産）であり、一方で研究で利用する際には過去からの暗号と化すこともあります。今回紐解く「Azuma」の謎は、19 世紀末に日本の植物を採集しまくったフォーリー神父がヒナミクリ *Sparganium natans* のラベルに書き残した「暗号」です。研究の発端は世界のミクリ属をまとめた論文で「唯一の日本産ヒナミクリ標本」としてフォーリーが採集した標本が引用されていたことです。

ミクリ属は水中に生える植物（水草）です。演者は日本産ミクリ属の中でも分類の整理が進んでいない浮葉をつくるヒナミクリほか 3 種類の外部形態の差異について研究を試みました。特にヒナミクリは日本産標本が少なく、フォーリーの標本が重要になります。その標本が誤って同定されていたら？モノグラフの分布図 Azuma の位置は正しい？など、謎を解いていくプロセスとミクリ属の形態の研究についてお話しします。



主催・お問合せ

北海道大学総合博物館

TEL: 011-706-2658

HP: <http://www.museum.hokudai.ac.jp/>

